

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りから反転学習へ

事前課題をもとに個々の目標が明確になることで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現

1年保健体育「回転運動」

1 クラウド上の教材で、個別最適な家庭学習

～事前準備と家庭学習～

- ① 見本動画をTeamsで共有
- ② Jamboardで「回り始め」「回っているとき～着手」等といった“動き”の枠を作成し視聴の視点を共有
- ③ 生徒は家庭学習で見本動画を視聴し、課題を把握
- ④ 気づいた“技のコツ”をグループのJamboardに付箋で投稿

生徒の反応



みんながJamboardに書いているのを見ると、回っているときは、体を丸くして・・・特に首を縮めるようなイメージで回るといいみたい！意識してやってみよう！

共同編集機能を活用し、いつでも他者参照

学年全員の“技のコツ”を参照可能

気づいたコツを言語化した類似点から一般化へ

気づいた技のコツをリアルタイムで共有



事前課題による反転学習の授業では・・・

1 見本動画で課題を把握

見本動画を共有することにより、生徒自身がコツを考える探究学習につながります。発展的な回転運動（ロングアート等）の動画も共有し、生徒が自ら課題を選択して取り組む個別最適な学びにつながります。



2 “技のコツ”について交流

気づきを言語化した Jamboard は、技の習得に悩んでいる生徒にとって有効なヒントになります。他の生徒の気づきから、技を習得するための合理的な動き方について自分に合ったコツを見つけます。



3 いつでもどこでも確認

開始姿勢や手の着き方、回転するときの動きや終末姿勢等、演技をする中で焦点化された視点について、改めて見本動画で確認することで、「技」の習得につながります。

